

漢回の部落各處に點在す。園圃は清潔にして、高大なる樹木駢植せられ、耕田其間に散見し、數多の溝渠を引きて灌漑に供せり。

予は寧遠城に留ること二日、其間に於て露國總領事セルゲイ氏と會見したり。氏は永年此地に駐在し、資性、溫厚篤實にして深く清民上下の人望を負ふ。予が訪問の際に於けるも、頗る叮嚀を極め、翌日答禮の爲め、予を宿舎に訪ひ、欸話數刻、談會會伊犁鐵道工事の難易に及び。予が經由せし地の、該路線に當れる故を以て予が意見を叩かる。敷設工事に於ては唯六盤山に隧道を設くる難工事ある外、道路は概して平坦なれば頗る容易なりと信ずと。氏然らば戈壁地帯其他に對する石炭及水の供給如何と予曰く水を得るは僅の設備を施せば、敢て難しとせざるべく石炭は所在多少の産出あれば、供給に不足を告げざるべし、要するに該鐵路は資金さへ有らば必ず成功せんと。滯在中、道臺、知縣を始め文武官の來訪者多く、頗る優遇を受けたり。

旅宿は特に將軍衙門より充てられし所のものにして、即ち纏頭の豪商ヤホブの居なり、壯大なる洋館當城第一と稱せられ、内外の大官珍客の此に到る者、皆此に宿